

加賀市の取り組みについて

加賀市



新型コロナウイルス対策

事業者・市民支援事業

加賀市独自 **79事業** **29億4,320万円**

国事業含め **103億3,891万円**

※R2.3月～R3.6月予算額

市独自のコロナウイルス経済対策事業



【全事業者対象】

1. 事業者応援給付金 (R2～R3) (対策費 **2億8,500万円** (R3.6.11時点))
2. 緊急経営安定融資信用保証料・利子補給 (R2) (対策費 **395万円**)
3. かが応援商品券 (R2～R3) (対策費 **2億4,014万円** (R3.6.15時点))

国・県・他自治体に
先駆けた緊急支援

【宿泊業関連】

1. 宿泊施設 緊急支援(衛生管理強化・経営安定化) (R2)
(対策費 **1億7,100万円**)
2. 市民宿泊限定 応援リフレッシュ割 (R2) (対策費 **1億2,300万円**)

市独自のコロナウイルス経済対策事業

【飲食業関連】

1. 飲食店感染拡大防止支援金(R2) (対策費 **7,840万円**)
2. テイクアウト・デリバリー参入支援・推進事業(R2) (対策費 **989万円**)
3. 飲食店緊急支援金(R2~R3) (対策費 **5,690万円**(R3.6.11時点))
4. 飲食店等飛沫感染防止支援事業(R3) (対策費 **133万円**(R3.6.25時点))



【販路開拓等の支援】

1. 販路開拓・生産性向上支援(R2~R3) (対策費 **5,733万円**(R3.6.25時点))
2. 伝統工芸デジタルブランディングの推進(R2) (対策費 **450万円**)



加賀市かがやき商品券 (R3年度事業)

市内中小店舗で利用できる

「加賀市かがやき商品券」を販売します。

【販売金額】 1人につき1冊 **5,000円**
(**8,000円分** (1,000円×8枚))

【販売期間】 **令和3年8月5日(木)～9月3日(金)**

引換券(7月末日までに送付)を市内の郵便局で交換(購入)できます。



市民宿泊限定 応援リフレッシュ割(R3) (R3対策費 **1億3,600万円**)

引き続き市民限定の宿泊助成を実施中!

全市民・全事業所対象の新型コロナ検査体制強化事業

希望する全市民がPCR検査等を受けることができる体制を構築

強化策

(1)市内事業所向け抗原検査 自己負担：なし

- ✓ 市が希望する事業所に配布（自己検査）
- ✓ 抗原簡易検査キットで検査

結果まで
1~2日
待てるか？

待てない
(即日結果)



(4)緊急PCR検査 自己負担：10,000円

- ✓ 市医療センターで実施
- ✓ PCR検査（鼻咽頭ぬぐい）

待てる
(翌日以降に結果)



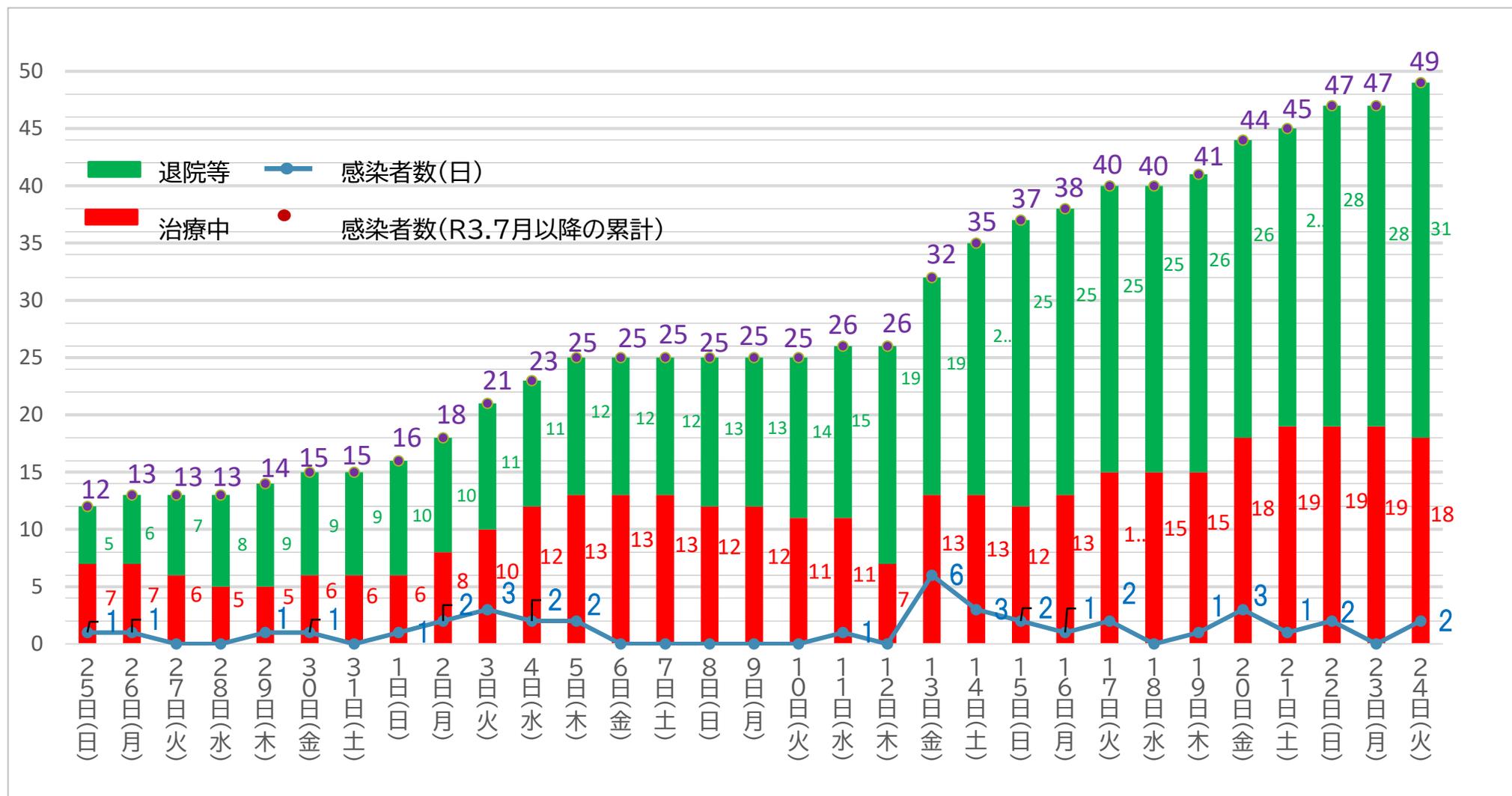
(2)市内事業所向けPCR検査 自己負担：1,000円

- ✓ 事業所単位で実施（事業所単位の申込、検定の提出）
- ✓ 唾液によるPCR検査（プール方式）

(3)市民向けPCR検査 自己負担：3,000円

- ✓ 市内11の医療機関で実施（検体採取・生活指導）
- ✓ 唾液によるPCR検査（プール方式）

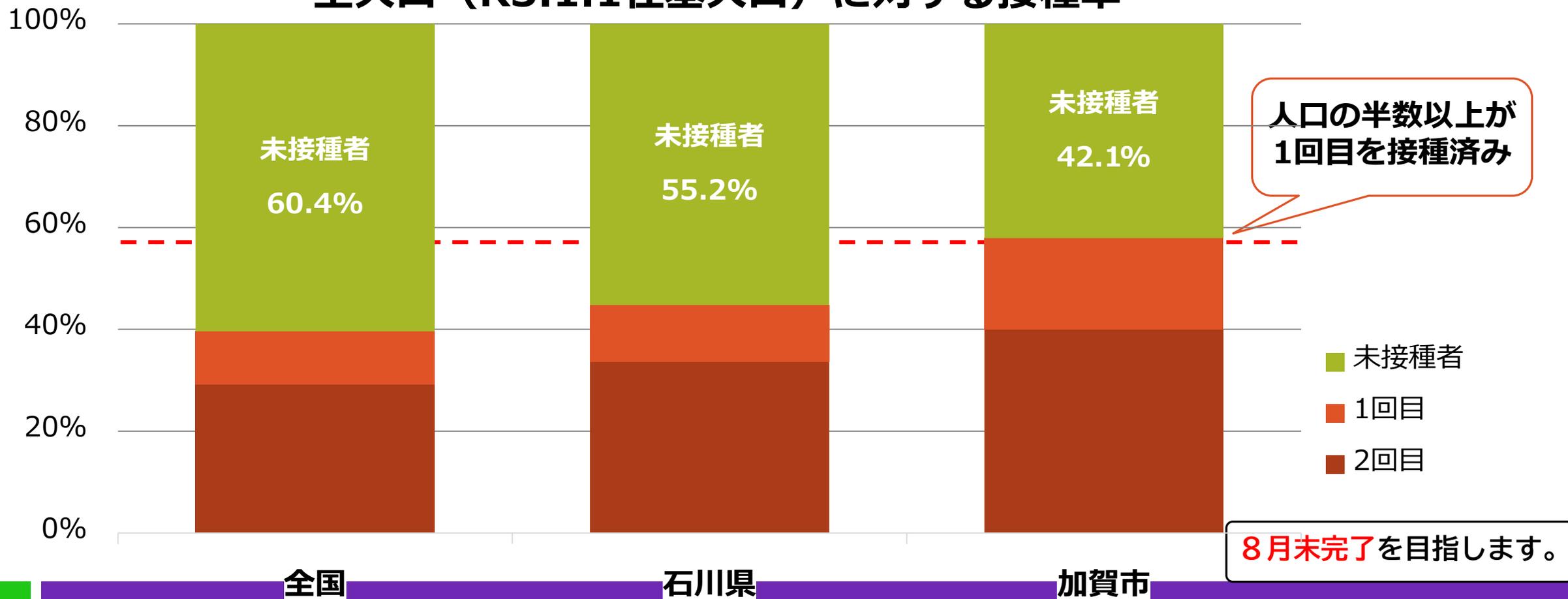
市内新型コロナウイルス感染者の状況(7月25日~8月24日)



新型コロナウイルスワクチン接種状況 8月2日現在

全国・石川県平均と比べて接種は進んでいる。

全人口（R3.1.1住基人口）に対する接種率



※国・県のデータは内閣府「ワクチン接種状況ダッシュボード」より

重点施策の取り組みについて

- I. スマートシティ・教育の取り組み
- II. 観光・産業の取り組み
- III. 子育て支援の取り組み

I. スマートシティ・教育の取り組み

加賀市の成長戦略の柱

スマート加賀 I o T 推進事業

I o T 人材の育成

先進テクノロジーの導入

I o T など最先端の技術を活用できる人材による
市内企業の生産性や技術開発力の強化

実証フィールドとして産業が集積した
活力のあるまちを目指す。

市民とともに戦略的に進めるスマートシティ

スマートシティ推進官民連携協議会

- ・ 2019年8月に、市民との合意形成を図るため設立
- ・ 産業団体や市民団体等 25 団体で組織



R2.12.10 エストニアの
レイナルト大使による講演会

スマートシティ構想／スマートシティ宣言 (2020年3月)

「スマートシティ加賀 運営の5原則」 (世界経済フォーラムと整合)

- 1 透明性 2 公平性と多様性 3 相互運用性 4 継続性 5 安心・安全



R2.3 「加賀市スマートシティ宣言」

G 2 0のスマートシティ・パイオニア都市認定 (GSCA)

(2020年10月28日)

- ・ 世界共通のスマートシティ5原則を普及
- ・ 全世界でロンドンやメルボルン等の 36 都市が加盟し、日本では前橋、浜松、加古川と加賀市のみ
- ・ ダボス会議を主宰する世界経済フォーラムが事務局



行政サービスデジタル化の推進

行政手続きの電子申請化 ～スマホで、いつでも、どこでも、安全に～

161種類の電子申請手続きを提供（R3.6.6時点）（手続きは加賀市公式HP等で公開中）

電子投票（インターネット投票）実現に向けて～デジタルID及びブロックチェーン活用～

- ・2020年12月「市の政策に関する電子投票実現に向けた連携協定」を締結。

年度内に実証実験を予定

マイナンバーカード取得率の向上

- ・コロナ経済対策とあわせて市内で使用できる「かが応援商品券」を配布。

※配布期間を令和3年8月31日まで延長。



全国で1位（市区）※R3.6.6 現在

加賀市民のマイナンバーカード申請率 **77.2%** マイナンバーカード交付率 **66.0%**

ドローンの活用 ~Air Mobility管制プラットフォーム構築~

自動飛行に向け市内生活圏全域の
3Dマップを作成中
デジタルツイン社会を実現

ドローン関連事業者を誘致・育成し、
就労機会拡大や、雇用創出事業者が
集まる『空の産業集積』を実現



ドローン首長サミット



「全国自治体ドローン首長サミット」(NEDO、経済産業省)

経済産業省等が主催する「ドローン首長サミット」に、先進自治体の代表として登壇

アバター技術の活用

- ・アバターを活用した入院患者へのお見舞い等に活用(2020年度)
- ・遠隔授業やオンライン修学旅行等による市民生活の質の向上



MaaSの推進

公共交通の増便とアプリによる利便性の向上

- 通学用バス路線の新設（橋立・動橋線）
- 通学通勤時間帯の運行（のりあい号）（10月より～）
- エリア横断便の新設（のりあい号）（10月より～）
※乗り継ぎなく他のエリアに移動できる便

2 便新設

2 便増

6 便新設



- MaaSアプリで検索・予約・キャッシュレス決済を完結
※R3年度中にアプリ公開



今後は

- AIオンデマンド送迎
- 送迎遊休車両を活用した公共交通
で新たな移動手段を創出



キャッシュレス決済



経路検索



フリーパス乗車券

スマート農業の推進 農業分野におけるデジタル化

・IoTでルビーロマン等の栽培データを見える化

・データ活用で「品質」と「商品化率」を向上

約50%から
約70%に向上

・ルビーロマン一房140万円の最高額で落札（令和3年）

ブランドイメージを構築

・新通信技術の通信実験（2020年6月、12月）

・奥谷梨団地で、長距離通信のWi-Fi技術（Wi-Fiヒーロー）を検証

将来的には市内のIoT整備のインフラに！

・自動給水管理システムの実証

・JA加賀に特別栽培米「加賀ほまれ」の食味向上・作業の省力化
実証事業への助成

自動給水管理システムイメージ▶



公共施設への公衆Wi-Fiスポットを拡大

住民の利便性向上のため、公衆Wi-Fiスポットを整備し、無線インターネット環境を充実

これまでの整備状況

Kaga Free Wi-Fi	Kamomaru FreeWi-Fi
	
観光施設 13箇所	公共施設 16箇所

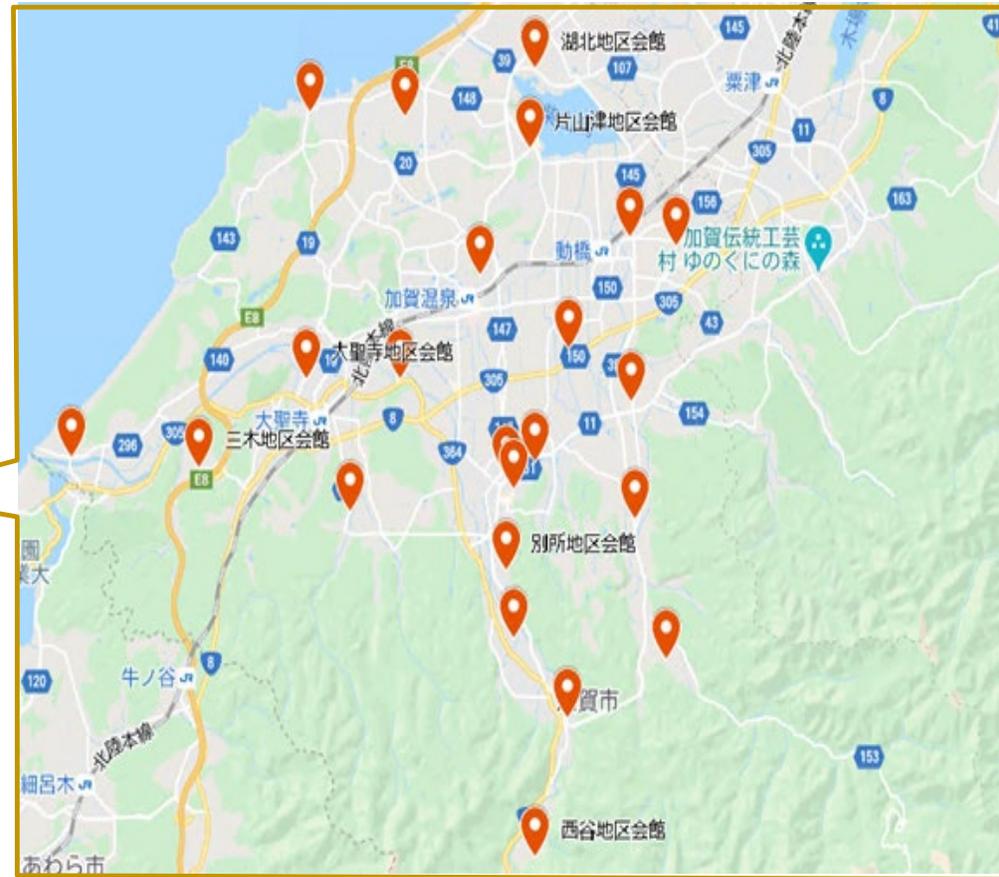


今年度の整備

地区会館
19箇所

観光施設
2箇所

新たに21箇所



- ・今年度中に延べ50箇所で公衆Wi-Fiが利用可能
- ・災害時には、避難所で情報収集できる通信手段を確保

電子生涯健康手帳の実現に向けて

自治体で全国初！

学校健診・母子健診情報のデジタル化と個人へのフィードバック

【主な内容】

令和2年度 登録者数 約1,000名

- ・学校健診情報と乳幼児健診情報をデジタル化し、個人へフィードバック
- ・将来的には、妊婦健診情報をデジタル化



わたしの暮らし手帳(加賀市版認知症ケアパス)の啓発普及

生活機能障害の進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのかを標準的に示した物。

⇒『どんなふうに暮らしていきたいか』を考えるきっかけとして、作成。



個人の健康データを必要な時に活用できる
情報銀行の実現を目指す。

先端技術で災害等から命を守る

AIで災害・危機管理情報等をリアルタイムで取得

危機を迅速に察知するAI搭載カメラによる水位予測・分析

新堀川・動橋川洪水ハザードマップ

柴山潟越水

動橋川

動橋川増水

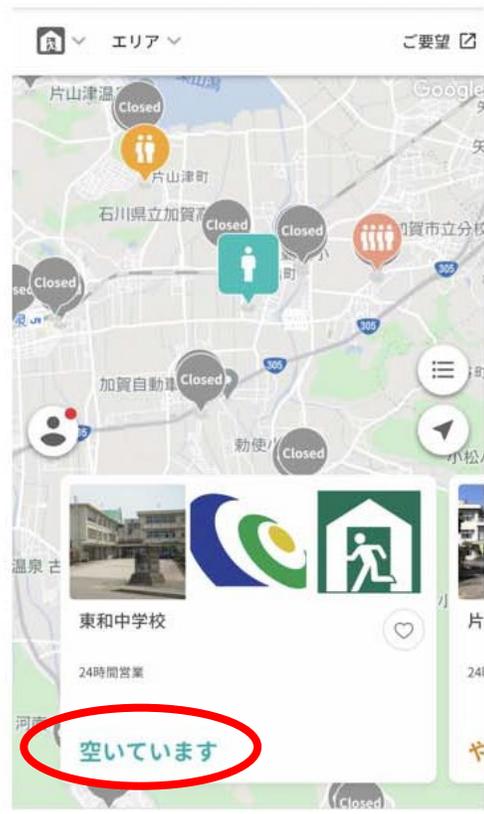
アプリで確認

SpecteeとのAIを活用した防災・減災行政の強化に関する連携協定 (R2.12)

避難所等の混雑状況を可視化

混雑状況をリアルタイム表示

避難所の混雑状況が表示される



北陸3県初



R3.1 「避難所等に係る情報の提供に関する協定」を締結

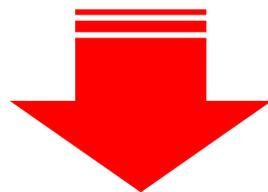
公民館や旅館等の臨時的な避難所についても同様の運用が可能 (R3.7~)

スマホ購入助成・スマホ教室の開催

- ・マイナンバーカード対応スマートフォン購入助成を実施

➢ 65歳以上の加賀市民対象、一人あたり 5,000円（上限）

- ・加賀市イノベーションセンターおよび市内協力事業者において
スマホ教室を開催



スマートシティの利便性を享受するための基本ツールとなる、スマホを持つことで、

ご自宅で様々な行政サービスを利用することが可能に！

大聖寺駅再生事業

大聖寺駅を、高校生や地域の方々、更にはテレワーカーやe-加賀市民が気軽に集える施設に改修し、まちの賑わい創出の拠点とするもの。

事業の概要

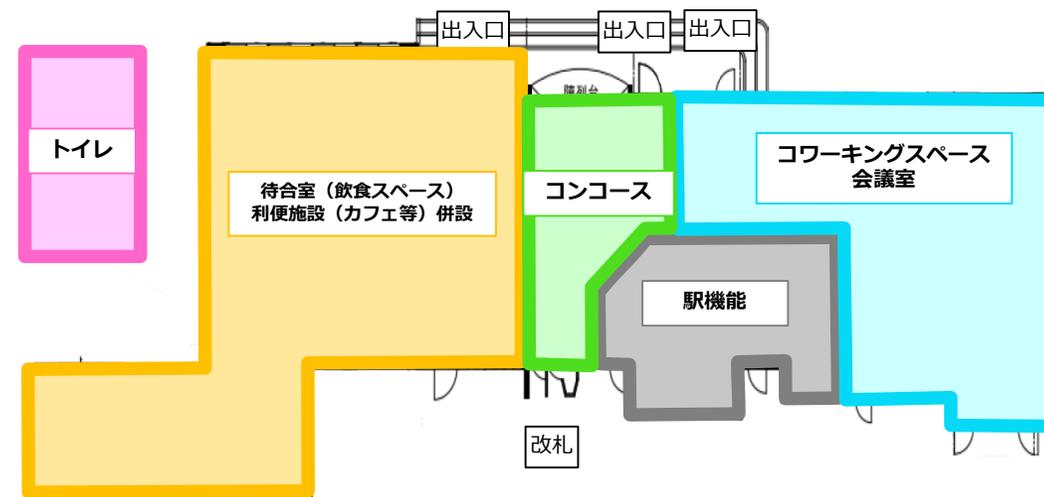
- ・コワーキングスペースの整備
- ・利便施設(カフェ等)併設の待合室の整備
- ・駅トイレの改築



コワーキングスペース (イメージ)

今後のスケジュール(予定)

- | | |
|-------------|-------|
| ・10月初旬ごろ | 事業者決定 |
| ・10月～令和4年3月 | 工事施工 |
| ・令和4年3月 | 供用開始 |



整備後イメージ

東京2023加賀プロジェクト PR動画第4弾 完成



第1弾・第2弾・第3弾ともに大反響 延べ約60万アクセス

- ・第4弾は、加賀市出身で日本プロ野球創設の父と呼ばれた、**河野安通志(あつし)**さんにスポットがあてられている。
- ・加賀市の知名度や話題性が高まり、北陸新幹線敦賀延伸に向けた地域全体の盛り上がりにつながっていく。

将来を担う人材育成に向けた教育施策の充実

小・中学校教育関連予算を**倍増**

学力向上関連、教員指導力向上関連、冷暖房整備、トイレ洋式化
GIGAスクールICT環境整備、コンピュータクラブハウス運営 など

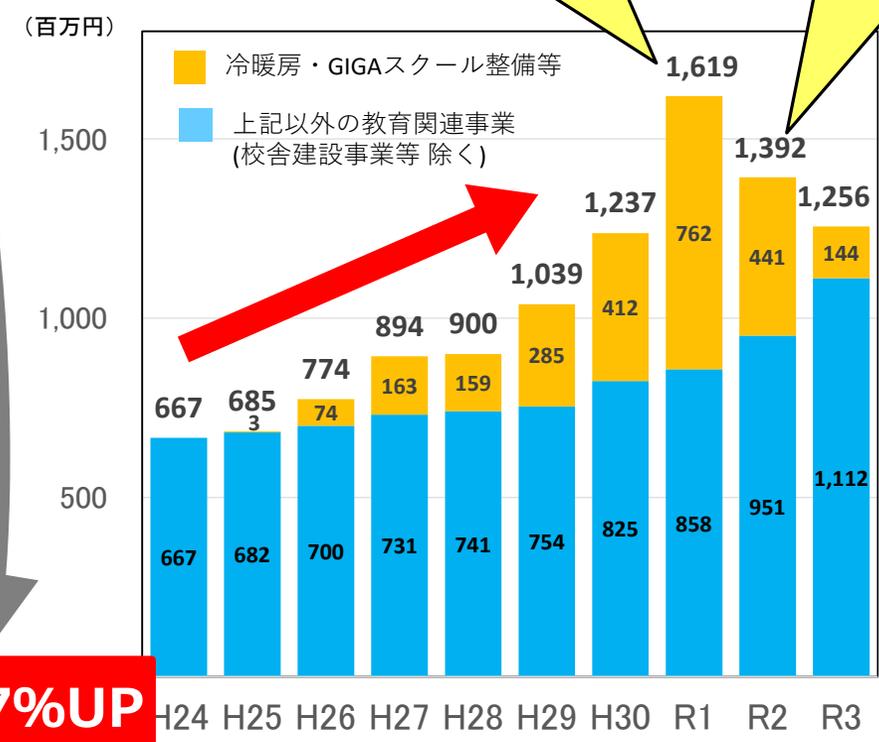
全小中学校
普通教室
冷房化完了

GIGAスクール
ICT環境整備

年度	総額	(児童生徒1人当たり)
H24年度	6億6千7百万円	(11.9万円)
H25年度	6億8千5百万円	(12.6万円)
H26年度	7億7千4百万円	(14.7万円)
H27年度	8億9千4百万円	(17.5万円)
H28年度	9億円	(18.0万円)
H29年度	10億3千9百万円	(21.5万円)
H30年度	12億3千7百万円	(26.0万円)
R元年度	16億1千9百万円	(34.5万円)
R2年度	13億9千2百万円	(30.4万円)
R3年度	12億5千6百万円	(28.2万円)

188%UP

237%UP



【参考】R3年度 金沢市 (21.7万円)

出典：「予算説明資料」 教育費予算から抜粋

STEAM教育推進事業

答えがある知識ベースではなく、正解のない社会の課題に対して、各分野を横断的に施行錯誤しながら実践的に解決策を学ぶ。

「総合的な学習」での取り組み例

- ▶ 地域活性化に向けた探究学習を充実
- ▶ 算数・理科でのプログラミング的思考の育成
- ▶ 移住定住促進に向けたPR動画の制作・配信
- ▶ 渋滞緩和のための信号制御プログラミング etc

数理女子ワークショップ2019in加賀

親子で体験する数理ワークショップ「美しい敷き詰め絵の世界」

数学的な能力を高め、可能性を伸ばすことを目的に、ワークショップを開催



地方初開催

小中学校ICT整備事業（GIGAスクール構想の推進）

- ・ 児童生徒全員に1人1台PC端末の整備（2020年8月） **県内トップ**
- ・ 高速大容量化の通信ネットワーク整備（2020年9月） **県内トップ**
- ・ Wi-Fiルータの貸与と通信料一部援助



小中学生プログラミング教育推進事業

- ・（2016年）総務省「若年層に対するプログラミング教育の普及促進モデル事業」に採択
- ・ **国の必修化に3年先駆けて、2017年度から全小中学校で開始**
- ・ **プログラミング教育の中核を担う教員を養成し増員**



加賀ロボレーブ国際大会を毎年開催

※2021年度は新型コロナにより中止

- ・アメリカ発祥のロボット教育プログラムである「ロボレーブ」の国際大会を2015年より毎年加賀市で開催。

後援：総務省、経産省、文科省

協力：NASA【技術革新及び提携促進部門 部長 ジョセフ・ミナフラ氏】

【シャープ研究所 診断・予測グループ 知能システム部門 課長 ジョージ・ゴロスぺ氏】

【エームス研究所 技術移転部 ソフトウェア公開監査役 キンバリー・ミナフラ氏】

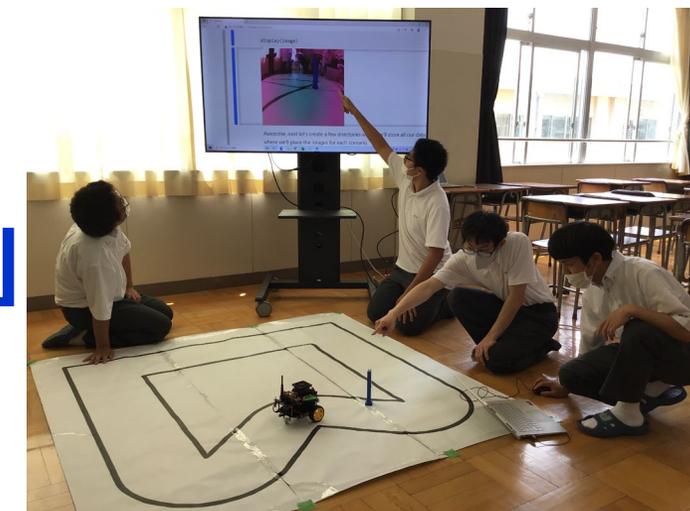
JAXA【有人宇宙技術部門事業推進部 部長 上森 規光氏】

日本で唯一のNASA「STARRプロジェクト」

- ・大聖寺実業高校の生徒がNASAからアドバイスをいただきAIロボットの研究を行っている。



▲2019年加賀ロボレーブ世界大会



▲STARRプロジェクト

自治体で全国初！

シンガポール大学法人SIMとの留学に関する覚書



羽ばたけ！加賀市の高校生

対象は加賀市の高等学校を卒業する学生

【主な内容】

- ・市が留学費用等を支援し、先進国の大学教育の機会を提供
- ・ロンドン大学(イギリス)、ニューヨーク州立大学バッファロー校(アメリカ)、RMIT大学(オーストラリア)、GEM(フランス)等の名門大学と連携して卒業資格を得ることができる

加賀市イノベーションセンターの開設 (2018年4月)



- ・スタートアップ企業等への無償オフィスの貸出し
(**11室中10室入居** R3.4現在)



- ・先端技術活用人材の育成に向けた講習等を開催

県内初**5G基地局**の設置(2020年3月)

◀新ビジネスを創出するコワーキングスペース

コンピュータクラブハウス加賀 **全国初**

テクノロジーに触れ隠れた才能を伸ばす

令和2年度**1,273名**が参加
毎週 水・木・金・土



「片山津わくわく工作部」がプログラミング大会で特別賞！



中学1年生がコンピュータクラブハウスの入館管理システムを構築！

シリコンバレー企業 btrax と起業家育成に向けた連携協定

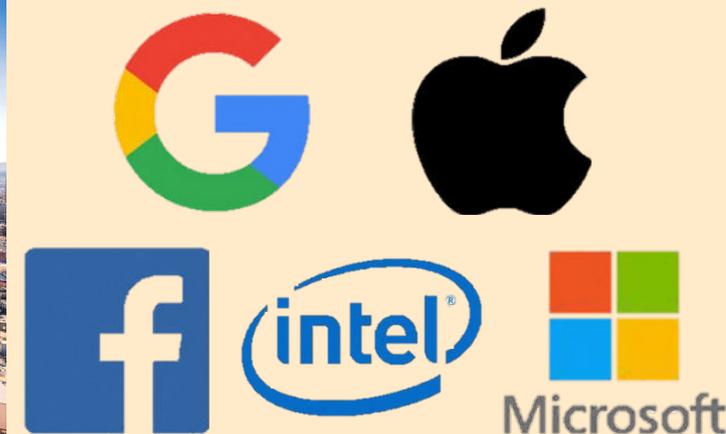
シリコンバレーへのゲートウェイへ

【主な内容】

- ・世界最先端の起業家育成プログラムを提供
- ・スタートアップ育成を継続的に支援

【目的】

- ・グローバルに活躍できる起業家精神の醸成
- ・地方都市からのイノベーション創出



北陸 3 県の自治体では 25 年ぶり
(金沢市に次いで 2 件目)

総務大臣表彰を受賞 R3.6.1

マイナンバーカードを活用したスマートシティの推進
に貢献した功績が認められました。



「Newsweek」や、
「ForbesJapan」にも
スマートシティの取
組みが掲載されました。

R3.5.19

ウエビナー登壇や、雑誌・新聞等でも
取り上げられています。



13万人の来場者があるアジア最大級のIT技術の
展示会「CEATEC2020」にウエビナー登壇

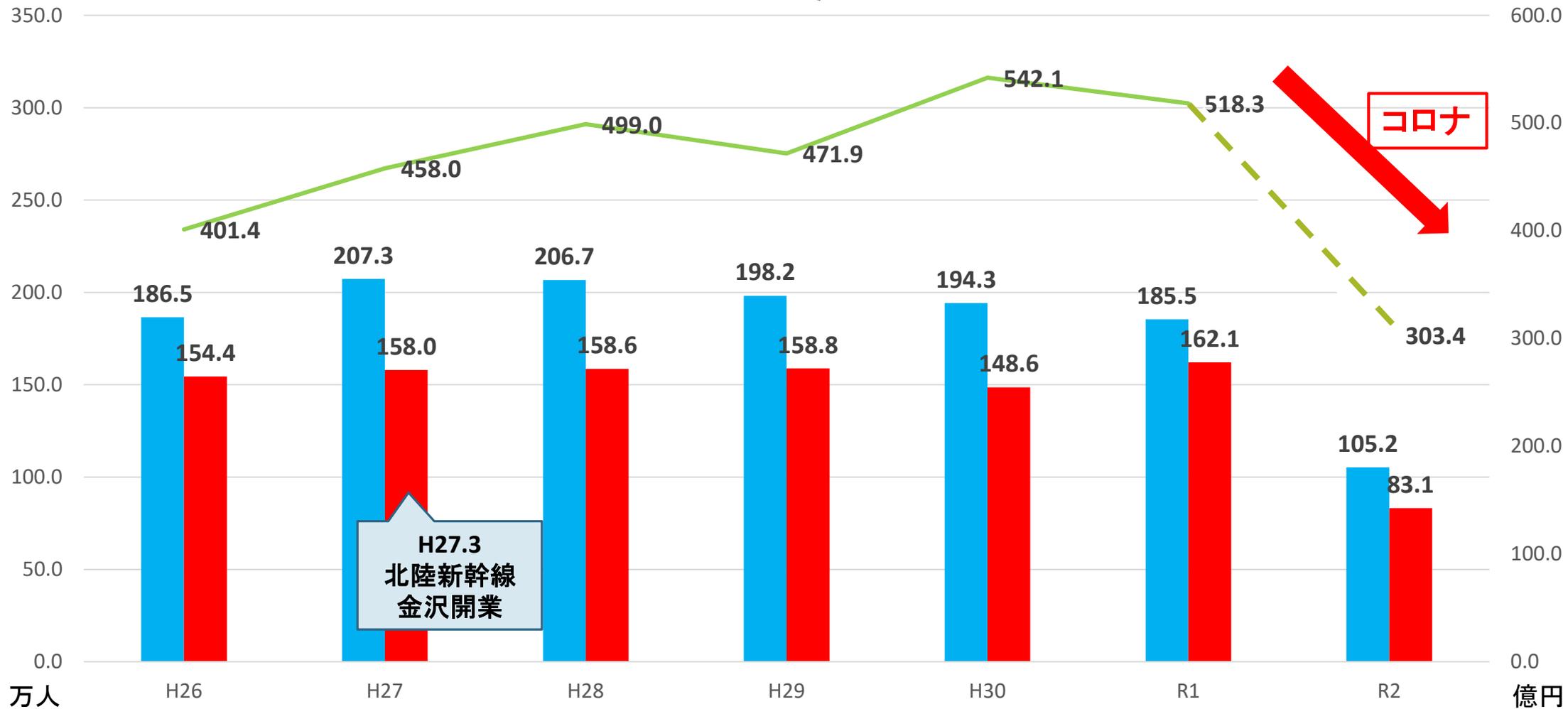
R2.10.20



武田総務大臣、平井デジタル改革担当大臣等
との「マイナンバーローカルサミット」 R2.11.19

Ⅱ. 観光・産業の取り組み

観光入込客数・観光消費額（実績）



H27.3
北陸新幹線
金沢開業

コロナ

※R2観光消費額(日帰り)は、R1の単価を参考として計算

観光宿泊施設の受入環境整備の推進

令和2年度

実施

新型コロナウイルスの感染拡大防止期間を、将来の観光需要回復に向けた積極的な「助走期間」と位置づけ、**旅館**などが行う**基本的ストレスフリー環境整備**及び**バリアフリー環境整備**への支援！



- ▶館内、客室のWi-Fi整備
- ▶国際放送TVの導入

- ▶館内スロープや手すりの設置



誰もが快適に訪れることのできる

国際観光都市



- ▶キャッシュレス決済端末、多言語対応タブレットの整備

- ▶車椅子で利用できる客室／ユニバーサルデザイン客室の整備



- ▶自社HPの多言語化



- ▶館内表示の多言語化

- ▶館内トイレの洋式化

総事業費
17,309千円

人生100年時代の鑑・斎藤実盛ヒーロー化事業 「老将の黒髪は、覇気の現れ」

加賀市の手塚山公園内の源平台戦の篠原古戦場に伝わる老将・斎藤実盛の武勇伝を広くPRして加賀市の観光誘客につなげる。白髪を染めて戦った実盛にちなみホーユー株式会社に寄附を依頼し実現



企業版ふるさと納税を活用したホーユー株式会社のご寄附による
加賀市の地方創生事業

令和3年度に3,000万円のご寄附をいただきました。
4年間で総額9,000万円をご寄附いただける意向です。

城下町大聖寺が**歴史都市**に認定 R3.3.23

城下町大聖寺を重点区域とした加賀市歴史的風致維持向上計画が、国の歴史まちづくり法に基づき認定。

石川県では12年ぶり、金沢市に次ぎ2例目

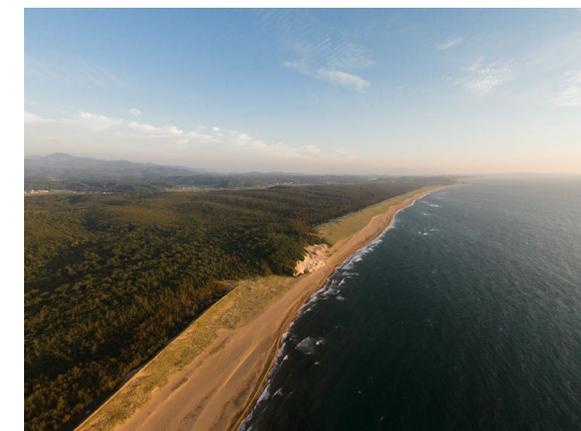


加賀海岸地域が**重要文化的景観**に選定

R3.3.26

人々の生活を守るための営みによって生まれた、海岸林を中心とする景観を後世に伝えていきます。

石川県では6年ぶり、金沢市、輪島市に次ぎ3例目



北陸新幹線金沢・敦賀間（加賀市内）の進捗状況

**2024年
開業予定**

今後の予定

鉄道・運輸機構

加賀市

2021年(R3年)
4月

新幹線高架橋工事

実施設計

新幹線駅舎建築・機械工事

軌道・電気工事

駅前広場工事

2023年(R5年)
4月

試験
走行等

2024年(R6年)
3月

北陸新幹線
金沢敦賀間
開業

※駅前広場工事は、仮駅舎が2024年3月開業時まで残るため、その部分の工事が開業後も続きます。

加賀温泉駅南側整備計画



高架下都市施設、待合所付近イメージ



地下自由通路改修イメージ

「加賀市版RE100」の実現へ！

- 「世界首長誓約」に署名（2018.11）
- 「ゼロカーボンシティ」の表明（2020.2）



「世界首長誓約／日本」事務局との記者会見

「自治体新電力事業の開始」（2019.4）

市100%出資企業の電力事業を核に「脱炭素」と「地域内経済好循環」の確立！

地域課題

「地域内経済循環」

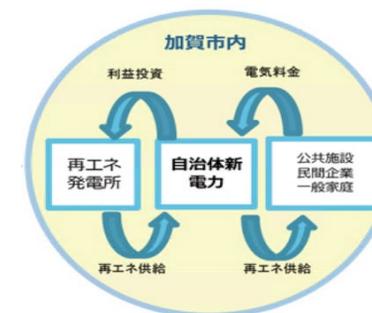
・市内の電気料金だけでも年間約100億円が加賀市から流出

「脱炭素」

- ・記録的な豪雪、頻発する豪雨
- ・猛暑ならびに度重なる台風

電力事業
で解決

加賀新電力



- ▶ 公共施設に太陽光発電設備や蓄電池を整備し、脱炭素と防災力強化を同時実現！
- ▶ 2030年までに公共領域におけるRE100を実現する！

公用車へのEVシェアリングサービス導入

「加賀市版RE100」と「公用EVの有効活用」を目指して

加賀新電力 自治体新電力

加賀市総合サービス(株)が「加賀市版RE100」の1つとして「**シェアリングサービス**」を開始

加賀市役所

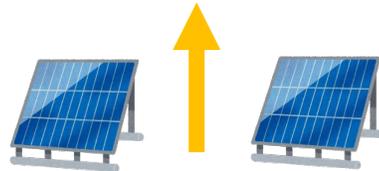
平日は公用車として利用



市民・観光客など

夜間・土日祝日
EVを利用

EV車をシェア



再生可能エネルギーを利用し電力供給



加賀市総合サービスと「REXEV (レクシヴ)」との、「公用EVの有効活用に向けた連携協定」を締結 (R3.6.29)

新たに約720人の雇用の場を創出（企業誘致）

大規模工場の操業開始や工場の増設、及びIT企業等の新たな企業の誘致により、多くの雇用の場を創出しています。



**(株)ソディック加賀事業所
工場増設
H30. 11月操業**

立地場所	宮町地内
内容・特色	マルチファクトリー、 食品機械工場増設



**村田機械(株)
第10棟工場
H30. 5月操業**

立地場所	南郷町地内
内容・特色	繊維機械製造業 自動ワインダー製造



**(株)ニホンパッケージ
集約移転、拡張
R2. 3月操業**

立地場所	新保町地内
内容・特色	梱包・輸送・通関・ 機工の総合物流



**(株)ベーシックス
本社移転(大阪市)
R2. 8月操業**

所 在	山代温泉地内
内容特色	ロボット設計、AI などIT全般

(株)ソディック物流センター	H30. 3月(株)ソディック加賀事業所敷地内で操業開始
(株)山岸	H29. 4月スーパーホームセンターヤマキシ新加賀店本社機能一部移転
(株)エムケーエンジニアリング	H29. 4月操業開始
(株)昭宝製菓	H29. 2月新工場完成
エネックス(株)加賀工場	H28. 12月第1期操業開始、第2期はH29. 11月操業開始
(株)ソディック加賀事業所	H28. 6月食品機械工場操業
小松ウオール工業(株)	H28. 4月加賀工場操業開始

市内企業の新たな投資について

雇用の創出や市内産業の振興を図るため、**最大8年間**固定資産税、都市計画税の免除等の支援を予定しています。

(株)月星製作所



立地場所	永井町地内
増設の内容	生産・洗浄工場 3,797㎡ 配送センター 5,375㎡ アーケード 288㎡ 増設により物流動線の変更し、生産体制の効率化
投資額	約22億円(土地、建物、設備等)
雇用創出	10人程度
完成操業	令和3年12月完成 令和4年1月操業

村田機械(株)



立地場所	南郷町地内
増設の内容	第11棟工場 約4,800㎡(敷地拡大面積 約8,000㎡) 加賀工場内全体のレイアウトを再構築し、整流化及び生産能力の向上を図る
投資額	約16億円(レイアウト変更に伴う費用は含まない)
雇用創出	120人程度(派遣、技能実習生を含む)
完成操業	令和3年10月完成 令和4年5月操業

Ⅲ. 子育て支援の取り組み

7年間の総額
約58億7千万円

県内トップクラスの充実した子育て支援策

子育て安心パッケージ (2015~2017)

かがっこ応援プロジェクト (2018~2021)

保育料軽減
 保育料を軽減 (子ども1人あたり平均)
 H25 約22,600円/月 → R3 約3,200円/月

多子世帯等児童生徒給食費助成 ★ 県内市初
 第3子以降、第2子の**学校給食費を無償化**

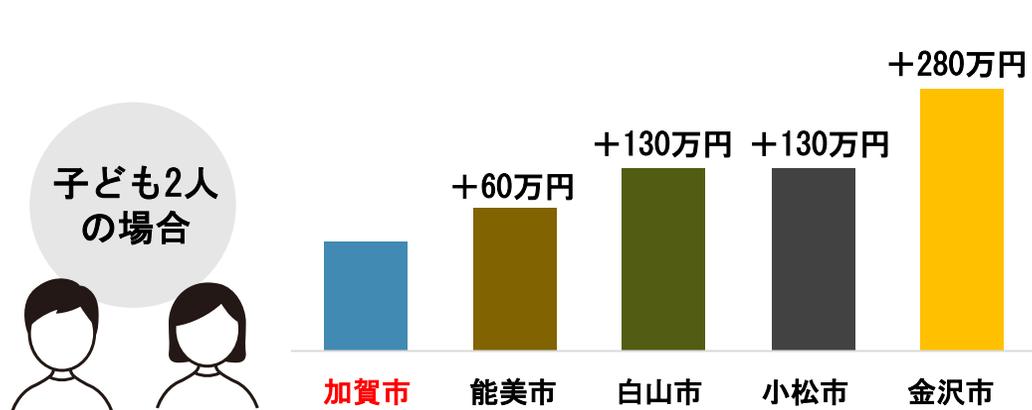
出産準備手当 ★ 県内初
 出産に向けて**1万円/1人の準備金を贈呈**

子育て応援ステーションかがっこネット ★ 県内初
 妊娠から出産まで、**全力でサポート**

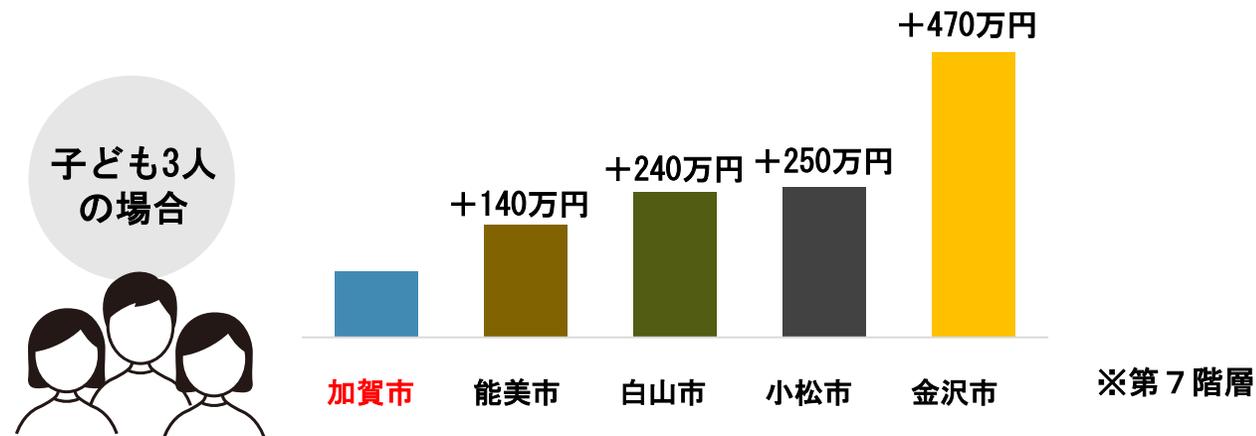
かがっこ応援プロジェクト2021

<p>多子世帯放課後児童クラブ利用助成</p>	<p> 第2子の利用料助成の範囲を小学1年から3年生までに拡充 <u>1人あたり約8,200円/月軽減。</u></p>	<p>★ 県内初</p>
<p>ファミリーサポートセンター事業</p>	<p> 産前・産後の支援強化と多胎児家庭の負担を軽減 <u>1多胎育児家庭あたり35,000円軽減。</u></p>	<p>★ 拡充</p>
<p>第3子以降誕生祝金給付</p>	<p> 第3子からの出産にお祝い金30万円を支給</p>	<p>★ 継続</p>
<p>多子世帯等児童生徒給食費助成</p>	<p> 給食費助成を18歳以下の児童のいる世帯の第2子に拡充</p>	<p>★ 拡充</p>

0歳～中学3年生まで（16年間）の保育費・給食費などの子育て総費用比較（試算）

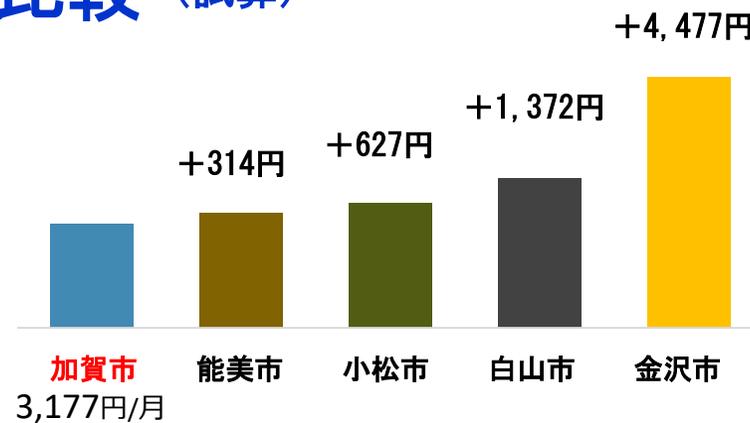


金沢市より **280万円** 安い



金沢市より **470万円** 安い

1月あたりの保育費比較（試算）



7年間の市内公園遊具整備費
約4億1千万円

加賀市中央公園 遊具設置工事

みんなが集う安全・安心のあそび場づくり



- 【事業年度】
- H28 冒険の丘
 - H29 ちびっこ広場
 - H30 おとぎの国噴水施設
 - R1～R2 おとぎの国水盤池など



天候に左右されない楽しい遊び場 **かがにこにこパーク**



- ・ **加賀市初**の屋内児童遊戯施設
- ・ **日本海側最大級**の大型ネット遊具
- ・ 加賀市民は、利用料**無料**

「育む」遊具で子どもたちの成長を応援

**H30年4月のオープン以来
来場者27万人を突破**



目指すまちの姿

人材育成を中心とした「日本版シリコンバレー」
を目指します。

ご清聴、ありがとうございました。

